

別紙４ テーマ４の提案に関する施策推進状況

テーマ４：「奈良に泊まってもらうには ーこんなにある奈良の隠れ観光スポット、お祭り、みやげものー」

提案項目	提 案 要 旨	回答課	施 策 推 進 状 況
１ 奈良を楽しい街にする	時代かご、鯉のぼり、にぎり墨、バンビーバス、まちかど正倉院等、最近、奈良市内で新しい風物詩が目につくようになってきた。こうした新規事業で奈良を楽しい街にすべきだ。	ならの魅力創造課	新規事業の創出は、民間の方々の活力を活かす事によって定着率が高くなります。ならの魅力創造課では、まちかど正倉院・バサラ祭りなど、奈良の民間の方々が新しい観光素材を創出し、定着していることに支援していきたいと思っています。
２ 旅行会社に頼らない宿泊政策の実現	奈良で泊まりたい人を紹介するという旅行会社側の都合ではなく、観光客に奈良で泊まってもらえるよう、昨年旅館組合が発表した修学旅行生向けの「金魚すくい選手権」、「バサラを踊ろう」、「平城京カルタ」や「薬師寺の法話」等のような奈良を見せ、体験するプランを創出して宿泊に結びつけるべきだ。	ならの魅力創造課	ならの魅力創造課では、各市町村と連携し県内の観光資源を発掘し、観光誘致を図っています。着物を着て”ならまち”散策等の日帰り可能な体験紹介とともに、宿泊に結びつく鹿よせ・鹿細工の体験等を、旅行社等に紹介し宿泊観光を図っています。
３ 宿泊は多様な宿泊プランの提示を	① 早朝に集まって東大寺の朝の勤行を見る ② 春日大社で特別に舞を舞ってもらう ③ 国立博物館や興福寺国宝館を切り上げ開館し、静かな雰囲気で見学物をみってもらう ④ 薪で炊いた茶粥を召し上がっていただく ⑤ 早朝に霊山寺のバラ園を訪ねる 上記①～⑤のような多様な早朝見学プランや、奈良公園内でモーニングコーヒーが飲めたり、ホットドックが食べれるようにして宿泊してもらえるようにすべきだ。	ならの魅力創造課	早朝プランは、長谷寺の朝勤行や信貴山の勤行など宿泊観光プランの提案を、旅行社等に提案しております。今後も、ご指摘の様な宿泊につながる様々なプランを考え、旅行社等に提案していきます。
４ 宿泊施設は、泊まってよかったと思える場所の研究を	今まで泊まって良かった他府県の宿泊施設を紹介すると、「エキシブ京都八瀬離宮」は施設や食事もすばらしく景観にも配慮されている。淡路島の「ウェスティン淡路」はリーズナブルな宿泊費が魅力。軽井沢の「星のや」や松本市の「扉温泉明神館」は寛ぎや癒しに徹した非日常の演出が見事だ。これらの宿泊施設は、宿泊の度に客のニーズに応えようと些細なところにも工夫を凝らしたり、改善されていてリピーターが多いホテルなのだという関係者の話にもうなずけるので、そうした場所を研究すべきだ。	ならの魅力創造課	２０年度に、おもてなしの調査を実施し、宿泊施設の方々にその回答をお返ししております。このような調査のなかで、宿泊客がどのようなニーズを持っているかを把握して頂き、魅力ある宿泊施設となるよう研究し、宿泊関係者と共におもてなしの向上に取り組んでいきます。
５ 自分がほしいと思える名産品の開発を	地元の人が手みやげを買う際、もらう方に嬉しいと思っていただけるような和菓子や袋物などの名産品を開発すべきだ。	商業振興課	土産物の新商品開発については、新商品を開発使用とする事業者（平成１８年度 １３社、１９年度 １０社）が取り組む２３商品の開発支援を行うとともに、それら商品の展示即売等を首都圏で実施する等販路開拓の支援に努めています。
		マーケティング課	また、２０１０年に開催される平城遷都１３００年祭に向け、「奈良のうまいもの」づくり事業での働きかけにより、意欲ある事業者の新商品開発の取組みが進められてきました。引き続き関係部局が協力しながら、より一層の取組推進に努め、地域資源の活用や、農

提案項目	提 案 要 旨	回答課	施 策 推 進 状 況
			業者と商・工業者との連携促進による、奈良の特産品を生かした付加価値の高い新商品開発を進めていきたいと考えています。 さらに、これらの取組みによって開発された新商品のほか、既存の土産物や地場産品の中にも奈良の歴史や風土の中で育まれてきた魅力ある商品が多数存在します。これらの商品についても新商品とあわせて、消費者の共感を得られる効果的なPRを展開することにより、奈良の特産品全体のブランド力を向上させていきたいと考えています。
6 行事・催事を徹底的に広報宣伝する	奈良の代表的な伝統的行事である「お水取り」や「采女まつり」のほかに、中秋の名月に唐招提寺や甘樫の丘で行われる「観月会」、また、唐招提寺で正月に営まれる「修正会」、そして大宇陀の「かぎろひを観る会」など、あまり宣伝されていない行事や催事が数多くあるので、それらをもっと積極的にPRすべきだ。	観光振興課	行事・催事については、奈良観光ガイドブックや奈良県観光情報システム「大和路アーカイブ」、新聞・雑誌社等への情報提供を行っています。あまり知られていない行事や催事については、特集を組む等情報提供に工夫を凝らしていきます。
7 奈良県に真に相応しい宿泊施設は大型ホテルではないことを自覚すべき	県内に大型ホテルを誘致してサミットや国際会議の開催を強調されているが、そうした会議は年間通してそんなに多く開催されないし、大型ホテルの建設には高度・建坪率・容積率の規制の問題があり難しい。最近需要が見込めるビジネスホテルの進出が増えてきていることを自覚すべきだ。	企業立地推進課	県営プール跡地への大型・優良ホテルの誘致は、県有資産の有効活用と奈良の宿泊力を抜本的に強化し、本県の経済発展・観光振興を図る上で、欠かせないプロジェクトであると考えています。 なお、県では、宿泊施設の充実のため大型良質ホテルの誘致以外に、ビジネスホテル、町家、農林漁業体験民宿等多様な宿泊施設立地のための制度融資、専門家派遣、用地情報の収集・提供等各種支援も行っています。
8 奈良の販売方法を研究すべき	① テーマ別に分かれた研究意欲の湧く地図の製作 ② 鹿男をはじめとするロケ場所のPR ③ 映像資料や写真を一元管理をする放送ライブラリーの設置（旧県立奈良図書館の空きスペースの有効活用） ④ 奈良県観光連盟主催の文化講座にもっと参加を促す ⑤ 奈良にランドオペレーターの必要性を観光関係団体や関連業種に認識してもらう ⑥ 体験メニュー（文学・落語・音楽・お能・春日奥山原生林の自然観察等）を企画する		
	①県内にある神社・仏閣・古墳・名所等の由来入りの分かりやすい、踏破してやろうという意欲の起こさせる地図の製作。	観光振興課	① 現在、エリア紹介も掲載した奈良県全域マップの「奈良大和路観光マップ」や携帯型のエリア毎マップ「旅ナビならMAP」を制作しています。また、(社)奈良県観光連盟の監修による「奈良大和路 おすすめモデルコースマップ」を制作しています。引き続き制作及び情報発信を行うとともに、歩くルートマップなど新しい情報発信も今後進めてきます。
	④⑤法隆寺夏季大学が昨年も7月26日から29日の4日間開催され、全国35都道府県から600人が受講された。このような文化講座を「奈良県観光連盟」にランドオペレーター役になってもらって実施してはどうか。		④、⑤(社)奈良県観光連盟では、「大和路歴史文化講座」を東京講座と奈良県内での現地講座という構成で実施しており、現地講座は57回を数えています。講座規模は東京講座(1日)は600人、現地講座(3日間)は80人程度です。今後の参加人数や募集方法の見直しなどについては検討します。

提案項目	提 案 要 旨	回答課	施 策 推 進 状 況
	②「鹿おとこ」のロケ地マップをもっといろんなところに配付して「鹿おとこ」を一過性のものに終わらせないためにPRする。 を旧県立奈良図書館の空きスペースを有効活用して設置する。 ③「鹿おとこ」人気を保つために「なら文学と映像の館」を作って、そこに行けば「鹿おとこ」の原作本、ドラマのストーリー、ロケ地、キャスト、ロボット鹿などの情報が入手できて、シアタールームも兼ね備えられていて、河瀬監督の映画や映像資料などを展示できる映像ライブラリー ⑥奈良に来ていろんなことを体験できれば思い出ができてリピーターも増えると期待されるので、奈良の文学・落語・音楽・お能・春日奥山原生林の自然観察などの体験型イベントを企画して鉄道会社と提携してPRしてはどうか。	文化課 ならの魅力創造課	奈良県では、映画やドラマのロケーション活動を支援するため、文化課内に「フィルムコミッション・奈良県サポートセンター」を設置し、関係機関との連携を図りながら各種制作活動の支援を行っています。平成20年1月からフジテレビ系列で放送され全国区の人気を博した「鹿男あをによし」についても、このフィルムコミッション活動の一環としてサポートを行いました。県では、このように奈良県を取り上げた映像情報について、「奈良県文化情報」の中に「奈良にゆかりの映画情報」サイトを設け、幅広い情報提供を行っているほか、フィルムコミッションのホームページでも紹介しています。 さらに平成20年度には、韓国の連続テレビドラマ「スターの恋人」の撮影が奈良県内で行われ、今春以降日本国内でも放映される予定となっているなど、新たなロケーション活動の動きも活発です。県としては、これらのロケーション活動を個別にとらえるだけでなく、奈良県を扱った作品に幅広く焦点をあて、今後も奈良県のPRに繋げていきたいと考えています。 なお、旧県立図書館跡は、平成18年度に展示スペースとしてリニューアルを行ったところであり、県民の皆様の制作活動の発表の場として貸し出しを行っており、多数の方々にご利用をいただいているところですので、当面は貸出展示室としての活用を継続していく予定です。 ならの魅力創造課では、観光素材として体験メニューを創出しています。たとえば、長谷寺十一面観音の御足に触れるや鹿の愛護会での角細工など。また、今後も春日大社など神社仏閣を中心として、体験メニューの創出を行っていく予定です。鉄道会社との提携については、1300年を見据え、JR6社とタイアップして平成22年度に、奈良デステーションキャンペーンを実施いたします。このキャンペーンの中で、ご指摘のような体験イベントも考えていきます。
9 夏休みなどの旅行プランを参考に奈良の楽しみ方を再考し、奈良県民が県内で宿泊する政策を考える	奈良県の宿泊者数は全国ワースト1であるが、問題は奈良県民自身が県内の宿泊施設に泊まらないため、全体の宿泊者数が伸びないという実状があるのではないか。そこで、女性をターゲットに美容や健康などを売り物にして、県内在住者の宿泊料を5%引きにするとか、グループで宿泊すれば土産物10%引きのクーポン券を渡して女性グループ等の宿泊客を増やす政策を考えるべきだ。	ならの魅力創造課	女性をターゲットに昼食と温泉とをパックとした日帰り企画は多く作られています。宿泊者数を増やすために提案されている企画をホテル・旅館等に投げかけるとともに、8周遊割引なども視野に入れながら旅行商品の造成を図ります。